

〒692-0011 安来市安来町899-1

新館地域連携室（一般科）：TEL 0854-22-3495（直通）FAX 0854-22-3457

本館地域連携室（精神科）：TEL 0854-22-3411（代表）FAX 0854-22-3454

関係機関の皆様には、日頃より大変お世話になっております。新年度の慌ただしさが落ち着いてこられた頃でしょうか。

5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となり、今年度は、3年間の停滞状況を打破し、新しい時代に向け挑戦する年となります。今年度も患者様を中心とした医療・看護の提供に努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



## 昌林会のリハビリ 訪問リハビリやっています！

体力が落ちた、足が痛い等の体の不調、今まで出来ていたことが難しくなってきた等、ご自宅での生活で困りごとのある患者様、利用者様はおられませんか。そのような方は訪問リハビリテーションをご利用になると問題解決のお手伝いができるかもしれません。

訪問リハビリテーションとは、実際の生活場面であるご自宅や施設にお伺いしリハビリテーションを行います。具体的にはご自宅で出来る運動の提案、ご家族様への介助方法のアドバイス、環境整備・福祉用具の提案、話す・聞く・食べることのサポート、高次脳機能障害への対応等、実際の生活場면을想定した多様なサポートが可能です。

訪問リハビリテーション科には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の3職種が在籍しています。利用者様・ご家族様の希望に合わせ立案した、リハビリテーション計画をもとにサービス提供を行うことで、患者様・利用者様の困りごと解決のお手伝いをさせていただきます！

### ☆訪問リハビリ利用の流れ☆

- ①担当ケアマネージャーへ相談
  - ②担当ケアマネージャーより、かかりつけ医へ訪問リハビリ導入について確認
  - ③かかりつけ医より当院訪問リハビリ担当医宛に、診療情報提供書にて訪問リハビリの依頼をしていただく
  - ④当院医師によるリハビリ計画診療の作成
  - ⑤訪問リハビリ開始
  - ⑥かかりつけ医へ当院医師より訪問リハビリ実施報告
- ※3か月以上継続利用の場合は、③～⑥を3か月毎に繰り返します
- ※その他、利用開始までにサービス担当者会議を開催します



連絡先／安来第一病院 訪問リハビリテーション科  
TEL：0854-22-3411（代表）  
担当者：原治（訪問リハビリテーション科）

発表しました！



津村脩平  
精神保健福祉士  
社会福祉士

## 第16回 地域医療従事者スキルアップセミナー（2022.11.4開催）

「安来第一病院の精神科訪問看護について」という演題で発表させて頂きました。現在、精神科訪問看護指導は、看護師、作業療法士、精神保健福祉士3名で担当しており、登録者60名です。安来市を中心に、東出雲町、米子市など主に自宅で生活されている患者様の訪問に行っています。食事や睡眠など日常生活における助言や、掃除や洗濯の指導、薬の自己管理が出来るように工夫したり、一緒に散歩に出かけたりもしています。

精神科訪問看護の果たす役割は重要で、今後ますますニーズが高まると思っています。精神障害のある方の地域での生活を支えることが出来るよう支援したいと考えています。

## 第4回安来圏域医療従事者スキルアップセミナーを開催しました

コロナの影響でここ数年開催できておりませんでした。松江赤十字病院さんのご協力をいただき、3年ぶりに開催致しました。開業医の先生方や病院・介護施設の職員さんなど多数の方に参加頂き、次々と質問があがり時間が足りないほどでした。講師の先生方はじめ関係機関の皆様、ご協力ありがとうございました。

### 1. 「今年の冬のコロナとインフルエンザ」

松江赤十字病院  
感染症科 部長 成相昭吉様

### 2. 「褥瘡を見つけたらどうする？」

松江赤十字病院  
皮膚・排泄ケア特定認定看護師 石飛仁美様

### 3. 「看護師が出来る脳卒中リハ」

松江赤十字病院  
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 山根悠紀様



(参加者の方からの感想)

- ・コロナ、インフルエンザなど、リアルタイムな話が聞けて参考になりました。認定看護師の方のお話も、職種が違いますが、現場の声が聞けて良かったです。
- ・DESIGN-Rの活用法について学べ、実践していきたいです。
- ・褥瘡に伴う痛みについて、初心に戻り深く考えることができました。
- ・コロナ禍でなかなか研修参加のチャンスがなかったのですが、分かりやすく学ぶことが出来ました。じっくり聞きたい内容ばかりでした。

## 病院勤務の医療従事者・介護保険施設等勤務者向け 認知症対応力向上研修会 (現地+zoom)

開催日：2022年11月5日

主催：安来第一病院 認知症疾患医療センター

講師：臨床心理士・公認心理士 中田美希子

演題：認知症者と支援者の心を考える

内容：

- I. 認知症者の心理的問題とは？
- II. 心とは？心はどこにあるの？
- III. 認知症者の問題を心の構造から考えてみましょう
- IV. 我々の心のあり方（自我機能）を知るワークをしましょう
- V. 心のあり方を知り、自己コントロールについて考えましょう

この研修は認知症疾患医療センター主催で毎年開催しています。今回は60名の方に参加頂きました。

認知症の方が生きている世界（不安や混乱の中）を知り、急に怒り出すのは何故なのか理解出来た。

エゴグラムで自分の特性を知り、客観的に自分を見ることが出来た。マイナス面にも目を向けて意識しながら仕事をしようと思いました。

心の機能不全という視点で認知症者を理解することで、こちらがゆとりをもちながら関われる気がします。

感想を多数  
頂きました



## 地域連携室 スタッフ紹介



伊輪ゆかり  
事務員

はじめまして。3月22日に地域連携室に異動になりました。他業種からの転職で、病院事務の全てが新鮮です。覚えることが沢山ありますが、患者様がスムーズに受診していただけるように頑張ります！個人的には虫歯になったことがないのが自慢です。目指せ8020！



渡邊美月  
社会福祉士・精神保健福祉士

3月から地域連携室に配属になり、地域包括ケア病棟（3階東病棟）の担当となりました。この度の異動をきっかけに、初めて医療ソーシャルワーカーとして相談業務に携わっています。患者様、ご家族に寄り添えるような相談支援が出来るよう努めます。持ち前の前向きな性格を活かして、精いっぱい頑張ります。よろしくお願ひします。